

根白報

人口のうごき

(3月1日現在)		(2月中)	
人口	33,648	出生	43
男	16,145	死亡	22
女	17,503	転入	44
世帯	6,499	転出	66

生産費は安く、うまい米を

ことしも増産運動に拍車 特性に合った米作りを

昨年発表された国の重大施策のひとつ、食糧管理制度の改正は、内外を問わず大きな反響を呼びました。そして今国会では、巨額赤字を主流通米政策に賛成する旨の発言をし、農家に大きな不安をいだかせて

行くには、こうあらなければならぬと、市と各農協、それに市稲作振興対策連絡会議は、次の重点推進項目三点をあげて、増産運動を強く推し進めることにしました。

①四十三年度の収量を維持し、さらに向上をはかる。
②優良品種の普及、雑品種の整理、栽培管理の改善、適正な乾燥調製などで低品位米の解消をはかる。
③生産体制及び生産手段の近代化により、能率の高い米づくりをはかる。……の三点が、いわゆるコストの低い良米をたくさん生産し、これからの米の主産地としての地位を確固たるものにしようとする。

いす。しかし、稲作が基幹産業である本市では、どうしても米づくりはたよる以外になく、四十二、四十三年に続き、ことしも米一俵増産運動を強く推し進めることになりました。

樹園地の区画整理進む

経営の近代化に一役

下茨と東置場部落を中心として昨四十三年から三カ年計画で、土地基盤整備と経営の近代化をはかろうと実施しているもので、今年度はまず下茨部落の樹園地十部、六丁の区画整理と、下茨、東置場両部落の水田四十一・七畝の暗き排水工事に着手しました。そして四十四年度からは、さらに選果場の建設や、トラクターなどの農業近代化施設の導入が計画されています。



知っておきたい法律

結婚と婚姻届けの関係

わたしたちは、男女が結婚式をあげ同居している場合、その男女を夫婦とみるのが普通ですが、それだけでは法律上の婚姻関係にあるとはいえないのです。どんなに盛大な結婚式をあげ社会的にも夫婦と認められても、届け出という法律上定められた方式を欠いている場合は婚姻が成立した事にはならず、あくまでも

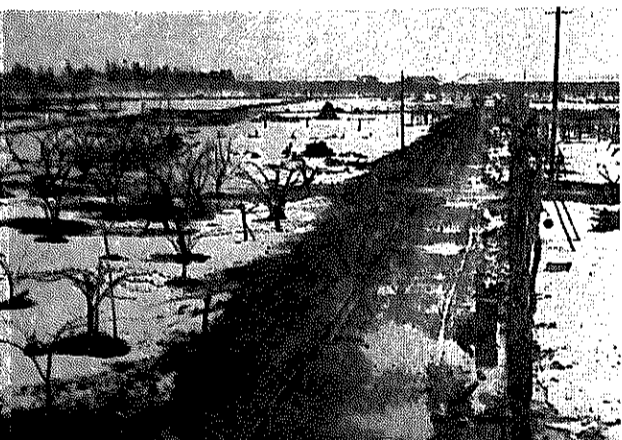
内縁関係にあるとしかいえないのです。こういう場合實際問題としていろいろの不都合を生じます。

たとえばA男とB女は結婚式をあげて数年の間夫婦生活をしてきましたが、世間によくある例で子どもができたらいっしょに届け出をしようとする場合、婚姻届けを出さないと、A男はB女と同一視し、婚姻届けを出してしまし、B女はA男と同一視し、婚姻届けを出さないと、B女の生んだ子どもは正式な嫡出子としての身分を得ることができず、しかもA男の認知があるまでは父子としての関係も生じないのです。そのうえ認知を得ても相続分は嫡出子の半分ということになり

な稲を作るには、どうしたら良いかという点で次の点をあげていきます。①田植期に合った計画育苗と苗代様式の改善をはかり、健苗の育成と苗代初期の障害を防止する②品種の特性によって施肥技術を改善し、健康な稲作りをはかる③品種の特性、土壌条件などを考慮し、良質米を早期に確保できるように栽培密度の適正化をはかるなど、品種の特性を適確には握り、それにあった栽培法をマスターすることとしていきます。

また、良い米を作るにはどうしたらよいかという点で①品種の特性から低品位米になりやすい雑品種は整理する②刈り取り時期のあやまりは

低品位米を生む原因となる。刈り取り時期を適確には握り、少しく早目に収穫する③生脱、乾燥、調製は、それぞれ機械の特長をよく理解し、最高の状態で使用する一などです。さらに能率の高い米を作るには①集団栽培、栽培協定、品種の統一など、集団的生産体制を確立強化する②共同利権組織をとおして中、大型作業機械を導入し、機械化一貫作業により省力化をはかる。また、稚苗移植(機械田植)方法なども取り入れて労力の節減をはかる③高効率大型機械を共同所有し、機械施設費の軽減をはかる一などとなっています。



りっぱな道路がついた果樹園地

今回の区画整理の行なわれていくところは、これまでモモナン、リンゴ、ブドウなどが栽培されてきたところで、入り組んだ樹園地の中には農道もなく、小さな水田が点在しているなど何事をするにも不便をかかっています。

この水田を一カ所に集めた

四月一日から一週間、県下いっせいに春の火災予防運動が実施されます。本市でも次の重点項目をかかげて運動を展開しますので、皆さんのご協力をお願いします。

あなたは火事の恐ろしさを知らない

■子どもの火遊び防止
マッチやライターなどは子どもの手のとどかないところに保管し、子どもの火遊びによる火災発生の防止にとめましょう。

■就寝、外出時の火の元点検
昨年中県下で火災のため亡くなったかたは二十六名にものぼっています。特に就寝中の火災による死者の発生が多くなっています。また老人、子ども、病人だけを残して外出したあとの火災も思わぬ事故となっています。本市でもさきごろ死者一名という火災がありました。就寝するときや外出するときは必ず一度火の元を確認する習慣をつけましょう。

火のしまっ
きょうの仕事の
しめくり

国保の被保険者証が四月から変わります

国民健康保険の被保険者証が四月一日から県下いっせいに新しくなります。

新しい被保険者証は近日中に各家庭に配布されますが、白根市内に住んでいる人で、職場保険に加入している人以外は必ず国民健康保険に加入しなければならぬ事になっています。

故斎藤城作氏を表彰

市はさる十六日脳軟化症のため死去された斎藤城作氏(市内引越)に対して「白根市はう賞規則」を適用することとし、告別式の席上遺族に表彰状を手渡しました。

同氏は昭和二十四年農業委員会が施行されると同時に、同委員として就任、昨年

三月退職されるまでの十八年間、市の農業振興に寄与してこられました。また同三十四年一月から四十年三月までの六年間、同委員会会長もつとめられ、市の農業行政上数多くの功績を残されました。それにむかひのため今回の表彰になったものです。

なお、氏はことし六十六歳でした。

おわび

ことしのドカ雪に際しては市の除雪車を出動させて、どうにか主要道路の確保をはかってきましたが、その他市で除雪できなかった路線については、皆様のご協力をいただき、皆様のお礼申し上げます。

いつものことながら除雪の際には道路上の砂利が田畑にはいり、春の農作業に大変ご迷惑をおかけしていることと承知しております。何分不足のため原状に復旧することもできません。悪しからずご了承ください。よろしくお願い申し上げます。

4月1日から7日までの1週間 春の火災予防運動が実施されます。

重点目標

1. 子どもの火遊び防止
2. 就寝、外出時の火の元の点検

午後9時は消防の時間
火の元はいま一度たしかめて